

I6 *Royal Exhibition Building and Carlton Gardens* 王立展示館とカールトン庭園

王立展示館とそれを取り囲むカールトン庭園は、1880年にメルボルンで開催され当時最大のイベントであった万国博覧会用に建設され、オーストラリアの産業と技術を世界に発信した。大ホールの保存状態はとても良いが、近年では建築物のドームや構造物、外部の建具や石造り、床などの保全作業が行われている。イベント開催時以外は内部見学が可能。

■登録年：2004年 ■登録基準：2 ■場所：VIC州メルボルン市内



©Ko Hon Chiu Vincent (UNESCO World Heritage Centre)



©Ko Hon Chiu Vincent (UNESCO World Heritage Centre)

I7 *Sydney Opera House* シドニー・オペラハウス

オーストラリアの象徴にもなっているこのオペラハウスは、独創的な構造だったため完成までに16年の歳月を費やした。現代技術を駆使し、創造性と革新性を兼ね備えた20世紀の偉大な建築作品。多くのイベントが上演され、毎年約200万人もの観客が訪れ、まさにオーストラリアの芸術の拠点。

■登録年：2007年 ■登録基準：1 ■場所：NSW州シドニー市内

I8 *Australian Convict Sites* オーストラリア囚人遺跡群

この文化遺産は、18世紀から19世紀にかけヨーロッパから大規模な囚人移送が行われ、植民地拡大のためその囚人たちの労働力で造られた。今では、オーストラリアの歴史と文化を伝承する貴重な遺跡となっている。11箇所の中の1つとして登録されたフリーマントル刑務所は1851年に建設が始まり、1992年に閉鎖するまで実際に使われていた。

■登録年：2010年 ■登録基準：4、6 ■場所：全豪に11箇所点在 (NSW州やタスマニア、ノーフォーク島、WA州のフリーマントル刑務所〈右写真〉)



©Fremantle Prison (UNESCO World Heritage Centre)

I9 *Ningaloo Coast* ニンガルーコースト

WA州がこの遺産は、世界最大級の珊瑚礁や広範囲に及ぶカルスト地形が特徴。海洋部のニンガルー海洋公園はジンベイザメの生息地として、また砂浜でのウミガメの産卵が知られる。地上部のケーブレンジ国立公園には、地形の隆起によって現れた断崖や浸食による渓谷が点在し、自生するワイルドフラワーと共に様々な野生の動植物が生息するまさに大自然の宝庫となっている。

■登録年：2011年 ■登録基準：7、10 ■場所：WA州北部、パースの北約1,260km



©DSEWPac (UNESCO World Heritage Centre)